

ステークホルダーマネジメント

OCVB は、沖縄県と両輪となり、沖縄観光のプロフェッショナルとして、誘客、受入、地域活性化、人材育成、危機管理等に取り組むとともに、県全体の観光地域づくり法人（広域連携 DMO）として、関係省庁、地域（行政・観光協会・DMO）、観光業界及び観光関連団体をつなぎ、持続可能な観光地の形成に努めています。

■沖縄ツーリズム産業団体協議会

沖縄県における観光・コンベンションの発展拡大に関する方法を話し合っていくため、OCVB及び観光関連業界35団体が連携し、沖縄ツーリズム産業団体協議会を設置し、その事務局を運営しています。



■沖縄県観光協会等協議会

各地域の観光協会及び関連団体と全県的な観光推進体制を作り、地域観光団体の運営体制の強化を図るために、沖縄県の観光戦略と、地域の戦略のハブとして定期的に情報交換を実施しています。



各地区協議会は、県内本島・離島地域を地区毎に分けて開催することで、横の連携を促し、各地域が主体となった会議の自立化につなげていくことを目的としています。



また、沖縄県観光振興条例で定められた「観光の日(8月1日)」や、8月を「観光月間」と位置づけて広報宣伝活動やクリーンアップ活動を行い、県民の沖縄観光に対する関心や理解を深めるとともに、ホスピタリティーの意識高揚を図ります。

■賛助会員制度の運営

OCVB賛助会員は、OCVBの法人設立目的に賛同する団体で構成されており、観光関連業界をはじめ、各産業と連携しながら、本県観光の更なる振興を図る観点から「賛助会員制度」を設けております。

賛助会員の皆様には、OCVBからの迅速な各種イベント、公募情報などを受けられるとともに、「賛助会員交流掲示板」を活用した相互情報発信も行っております。



■OCVB News/組織広報

沖縄観光振興のため「OCVB News」を毎月発行し、入域観光客数及び航空旅客輸送実績、エリア概況(国内・海外)、SDGsの取組などを含む事業概況などを発信しております。

また、航空会社、OTA含む旅行会社へのヒアリングや各種データを参照し、入域観光客数見込予測を発表しています。

